

# 阿南安芸自動車道「日和佐道路」

7月16日(土) 午後  
全線開通



日和佐道路は、阿南市から高知県安芸市を結ぶ約110kmの地域高規格道路「阿南安芸自動車道」のうち、福井町小野から美波町北河内を結ぶ延長9.3kmの道路で、阿南安芸自動車道の最初の事業区間として平成7年度に事業着手されました。

この度、福井町小野から由岐IC（インターチェンジ）までの3.1kmの道路整備が完了することになり、すでに供用を開始（平成19年5月12日）している由岐ICから美波町北河内までの6.2kmと併せて、全線開通します。阿南安芸自動車道は、四国東南部地域における地域間交流や産業・経済活動の促進、観光地へのアクセス性向上による観光客数の増加等、地域の活性化に大きな役割を果たす「元気の道」として早期完成が切望されています。また、災害時や救急救命医療時における「命の道」として、その機能が発揮されることに期待が高まっています。

### 日和佐道路ってどんな道？

道路全長は約9・3kmで、車線数は2車線です。規制速度は時速70km/hで、国道55号に比べて約2・3km短いので、所要時間を約6分短縮することが可能となります。また、大雨などで現国道が通行止めになった場合の迂回路として利用できます。

■事業費  
総事業費は約494億円で、国と県（22・23%）が負担しています。

■整備効果  
走行性の向上により交通事故の減少や、異常気象時や非常時における輸送路の確保、また、CO<sub>2</sub>排出量の削減（約3千t/CO<sub>2</sub>/年）などの効果が見込まれています。

■5つのトンネル ※（ ）内は全長

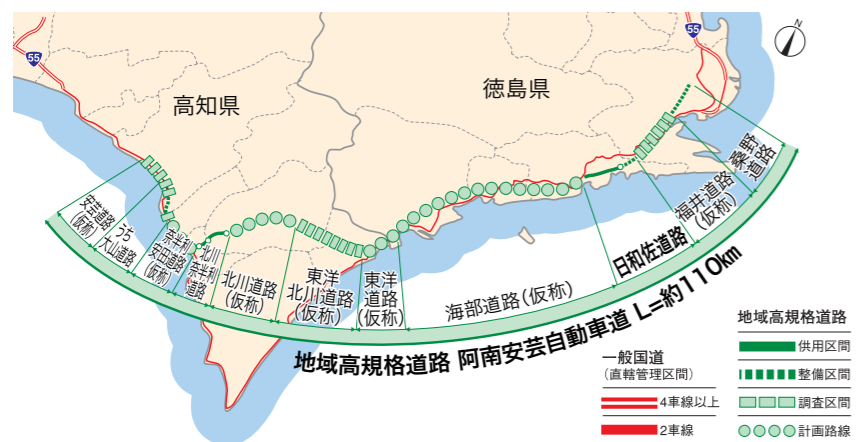
- ① 由岐トンネル（1279m）
- ② 木岐第1トンネル（258m）
- ③ 木岐第2トンネル（210m）
- ④ 北白浜トンネル（492m）
- ⑤ 美波ゆめトンネル（1968m）

■公券により命名  
「由岐IC」「美波ゆめトンネル」「うみがめ橋」の名称は、公券によるものです。

■ご注意ください！  
日和佐道路は自動車専用道路です。歩行者、自転車、原動機付自転車および125cc以下の自動二輪は通行できません。また、由岐ICの利用にあたっては、誤進入（出口から誤って進入すること）に注意して、標識などの案内に従ってご利用ください。



## 阿南安芸自動車道の最初の事業区間として整備開始



四国横断自動車道と連結する阿南IC（仮称・下大野町）から高知県の安芸西IC（仮称）までを結ぶ阿南安芸自動車道のうち、日和佐道路が整備される区間にあたる国道55号は、連続するカーブや急勾配が多く、危険とされてきました。また、連続雨量が300mmを超えた場合など、異常気象時には通行規制（平成元年以降16回・徳島河川国道事務所より）が行われるなど、市民生活に支障をきたしています。こうしたことから、日和佐道路の整備が最優先とされました。



### 高速ネットワークの空白地帯を解消

四国4県の県庁所在地を結ぶ高速ネットワーク「X（エックス）ハイウェイ」が平成12年3月に完成し、現在は、四国東部や南西部への延伸が進められています。

しかし、徳島県南部から高知県東部には高規格幹線道路の計画がなく、高速ネットワークの空白地帯となっていました。

阿南安芸自動車道は、その空白地帯を地域高規格道路として補完することで、四国の骨格軸となる「四国8の字ネットワーク」の形成をめざしています。

## 地域高規格道路「阿南安芸自動車道」 阿南IC(仮称)～小野IC(仮称)整備概要

### ■桑野道路

- 阿南市下大野町渡り上り～内原町桜木  
2車線・設計速度80km/h(規制速度は未定)
- H12.12.20 調査区間に指定
  - H22.4.30 徳島県都市計画道路  
阿南鳴門線 都市計画決定
  - H22.8.23 社会資本整備審議会の部会で新  
規整備の着手が了承される
  - H23.4.1 平成23年度公共事業予算発表  
事業着手(1億円)

### ■福井道路(仮称)

- 阿南市内原町桜木～福井町小野  
2車線・設計速度80km/h(規制速度は未定)
- H10.12.18 調査区間に指定
  - H22.4.30 徳島県都市計画道路  
阿南鳴門線 都市計画決定
- ※事業着手には至っていません。

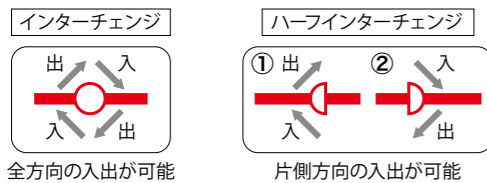
### ■日和佐道路

- H7年度 事業着手
- H11年度 工事着工
- H19.5.12 部分供用(由岐IC～美波町北河内)
- H23.7.16 全線開通予定

## 豆知識

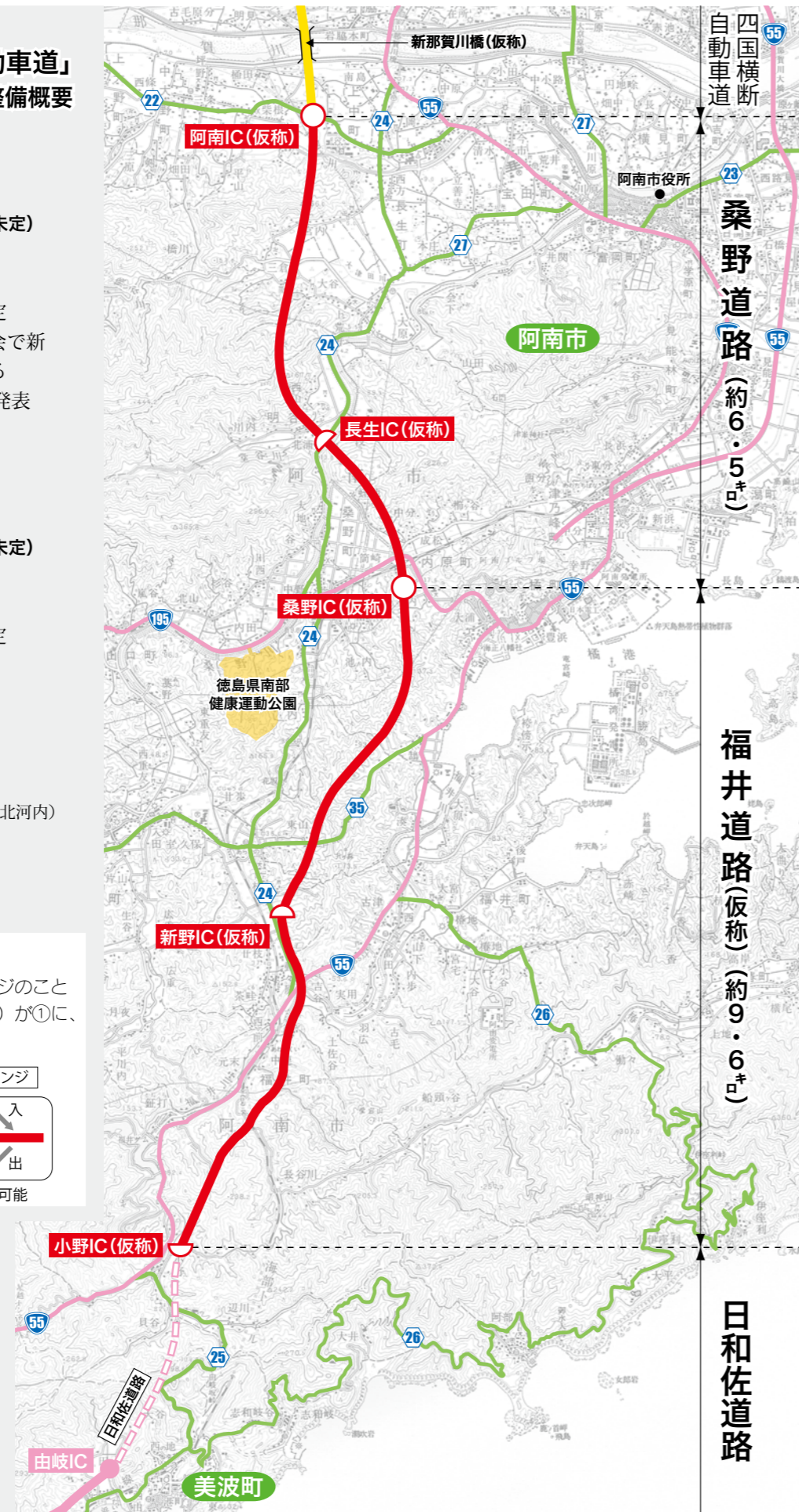
### Q. ハーフインターチェンジとは

片方向のみ出入り可能なインターチェンジのことです。長生IC(仮称)と新野IC(仮称)が①に、小野IC(仮称)が②に該当します。



### Q. 地域高規格道路とは

高規格幹線道路と一体となって地域の自立的発展や地域間の交流促進、空港・港湾等の広域交通拠点との連絡等を支えるために整備していく道路で、連携・交流・連結の機能により、広域的な地域・都市構造の形成を実現します。その果たすべき機能・役割から、沿道や交通状況に応じて、概ね60km/h以上の速度サービスを提供できる質の高い道路です。



## 四国横断自動車道

阿南IC(仮称)から徳島東IC(仮称)間は、国土開発幹線自動車道建設会議において新直轄方式により整備されることがすでに決まっております。早期の完成をめざして整備が進められています。今年度から上岩脇地区において用地買収が進められる予定で、さらなる事業の進捗が期待されています。

### 【工事等の進捗状況】

阿南IC(仮称)から小松島IC(仮称)までの区間で、阿南市内における工事等の進捗については次のとおりです。

▼大野原・渡り上り地区(大野)  
平成20年2月に大野原・渡り上り地区対策協議会と設計協議の調印がなされ、用地買収に向けて準備を進めています。

▼上岩脇地区(羽ノ浦)  
平成21年10月に上岩脇地区対策協議会と設計協議の調印がなされ、今年度から用地買収を進めています。

▼新那賀川橋(仮称)  
上部工事が7月中旬に完成する予定です。



7月中旬に完成する予定の新那賀川橋(仮称)

▼羽ノ浦トンネル(仮称)  
上岩脇地区から小松島市立江地区に抜けるトンネルです。今後、工事実施に向けて用地買収を進めていきます。

※1 新直轄方式とは、高速自動車国道の建設で、高速道路会社によらない国と地方自治体による新たな直轄事業のことをいいます。国が施工し、完成後は無料開放されます。

※2 設計協議とは、現地の測量・調査を基に設計された道路構造を説明するとともに、水路や付替道路等の構造について、関係者と協議することです。

## 桑野道路・福井道路(仮称)

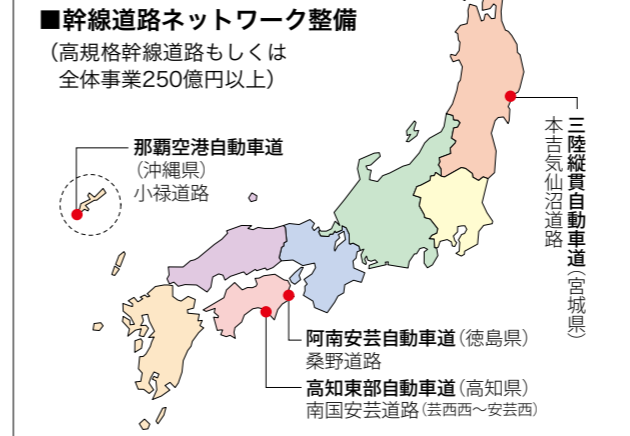
桑野道路・福井道路(仮称)は、地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の最端部に位置し、四国横断自動車道との連結の要となる自動車専用道路です。

桑野道路は、今年度から事業着手が決まり、調査設計費として1億円の予算が計上されています。一方、福井道路(仮称)は事業着手については見通しが立っていません。

四国横断自動車道の早期完成、阿南安芸自動車道の整備促進は、阿南市民の切なる願いであり、引き続き国・県に強く働きかけを行ってまいります。

### 平成23年度新規事業化箇所(国直轄事業)

■幹線道路ネットワーク整備  
(高規格幹線道路もしくは全体事業250億円以上)



## 7月10日(日)プレイベント実施 交通規制にご協力ください

日和佐道路全線開通を記念してプレイベントが開催されます。大会期間中は、日和佐道路(由岐IC～美波町北河内)が次のとおり通行止めになるほか、一般道等でも大会車両が多数走行します。ご迷惑をおかけしますが、ご協力ください。

日時 7月10日(日) 午前7時～午後4時

日和佐道路通行規制  
午前5時30分～午後2時15分(予定)  
イベント

▼光と海ロードチャリティーマラソン&ウォーキング(阿南市・美波町主催)

▼自転車のイベント「四国の右下」ロードライド2011(県主催)

※いずれも受付は終了しています。

問い合わせは 特定事業推進課(☎22-3197)へ

